

第二校道路の町會

亦また延期の模様

委員會は西部に多數を見たが
本會が中央部に氣勢を示して
東西二派に分れて紛糾中の議を招集したが所記委員の
平町第三小學校正門道路は意見に不一致を見たるに同
左記新任土木委員の再調査を以て議論を閉じて喧嘩を
に附託し三十一日の同委員極め議場の形勢は正門直道
會に於て無記名投票の結果に漸く多數を
西部線(舊道改修)に
多數を 制したらしい
其内容は嚴秘に附されて
るので詳細でないが西線四
東線一、折衷案正門直道一
白票一であつたらしく全員
一致を見ないために三日町
會議員一同の實地檢
分の上今四日午後一時本會

印紙切手横領の桑原

懲役二年を求刑さる

横領の總額一萬四千九百圓余
辯護士減刑論で言渡は十一日
平町郵便局元書記桑原庸夫東都震災から逃れて石城郡
(三)の印紙切手横領事件の泉村の郷里に歸り大正十四
公判は四日午前十時半支部年妻しつと町に世帯を持
公延に開かれたが三百に余つに當り
る傍聴であつた裁判長から
型の如き
訊問後 武田檢察の論 手三百枚此代金八十六圓八
告ありて懲役三年の求刑に十五錢を徴せざる最初の動
對し漆畑辯護士より庸夫が機から昭和五年三月に及ぶ

平町の菊花品評會

懸崖を合せて二百餘點の出品

山に紅葉の形を頭に野畑村綴劇場へ同二時半迄の集
に菊花がはほる何れも秋の
合を以て平町綴田橋から警
自然美の雄であるが都邑の
崎村入口に至る國道その他
庭に静かな趣味と華麗を愛
でられるものは菊で平町に
於ける
同好家 は約二百に達
するであらう此の有志連が
組織する平菊會では去一日
から明日まで平署の會議
室に開かれた品評會は懸
崖を合せて二百餘點の出品
で黄白様々の
研を競 ひ毎日數百の
観覽に於ては甘萬乃至卅萬
圓の大金を横領し少數の被
害關係に經濟的大損害を興
つた者が一年半乃至二年の
徒刑に 止まるものに
比し桑原の横領は本邦七千
萬の人口より見て一人當り
二厘一毛の損害であると感
刑論を述べ午後零時半閉廷
したが判決言渡は来る十一
日である。

濱三郡教員の 庭球戦

好成績の 好問校勝つ

好成績の
好問校勝つ
濱三郡教育會體育研究部
主催の濱三郡教員庭球試合
は三日午前十一時から、商
業學校々庭で出陣二十二組
の男らしい合戦あつたが好
問校と平第一校の決勝に於
て四對一を以て好問校の勝
つた。

非常召集の 副産物

併句 紅於二月花

併句
紅於二月花
満壽莊主人
久安のむかし高倉院の御
手とか覺えぬ或霜白ぬかし
た禁煙掃除の役を承りし衛
士共朝露の風に身をしまひて
と堪えざりけり落葉ども横
き集めて焚きつけ暖をと
けるを衛士頭の見つけて御
座所近くに畏れ多しとて衛
士共を叱りけるをみかざき
こしめして「さな叱りぞ彼
のもしの白樂天の詩に
林間暖酒焚紅葉(らんかん

非常召集の 副産物

併句 紅於二月花

非常召集の
副産物
併句
紅於二月花
満壽莊主人
久安のむかし高倉院の御
手とか覺えぬ或霜白ぬかし
た禁煙掃除の役を承りし衛
士共朝露の風に身をしまひて
と堪えざりけり落葉ども横
き集めて焚きつけ暖をと
けるを衛士頭の見つけて御
座所近くに畏れ多しとて衛
士共を叱りけるをみかざき
こしめして「さな叱りぞ彼
のもしの白樂天の詩に
林間暖酒焚紅葉(らんかん

石城郡三大炭礦の 體育會惜しき流會

八百リレー戦の紛糾から

石城郡に於ける入山、磐城園の氣勢は樂隊附の
古河三大炭礦の體育大會は 賑やか まで會場に二
既報の如く三日午前九時半 萬余の觀衆堵を築き人出盛
から縣立警中校庭に開催する正午頃は校門前全く押も
れ各炭礦何れ劣らざる應援もならぬ盛況裡に左記の
酒を暖めて紅葉を焚く」とを此頃の薄ら寒さに決酒も
云へるを知らずや衛士共のいかげやとためらはるゝを
しわざ此詩の意に叶ひて面紅葉を焚いて燭をせよとは
白しいづこより此風流を待誰か教へたか知らねども氣
來れる一といいたく獻成まし の利いた事を云つたものだ
まし御手許より酒肴を下しと酒好きの其角だけに非常
結りけるとか白氏の詩とはに同感したと見へる
林間暖酒焚紅葉
石上題詩拂寄書
と云へる對句なるを林
間の御のみ入口に附寄して
居るもかゝる謂れのあれば
にこそされは
紅葉には誰がをしへける
酒の燭 其角
の事がある前の其角の句の
はたといふのであります

非常召集の 副産物

併句 紅於二月花

非常召集の
副産物
併句
紅於二月花
満壽莊主人
久安のむかし高倉院の御
手とか覺えぬ或霜白ぬかし
た禁煙掃除の役を承りし衛
士共朝露の風に身をしまひて
と堪えざりけり落葉ども横
き集めて焚きつけ暖をと
けるを衛士頭の見つけて御
座所近くに畏れ多しとて衛
士共を叱りけるをみかざき
こしめして「さな叱りぞ彼
のもしの白樂天の詩に
林間暖酒焚紅葉(らんかん

坑夫の スリ數件

列車内や劇 場等に於て

坑夫の
スリ數件
列車内や劇
場等に於て
師祭禮其他地方の劇場に於
て數件のスリを働いてゐた
こと平署に探知取調中であ
つたが四日一件書類と共に
検事局に送られた。

非常召集の 副産物

併句 紅於二月花

非常召集の
副産物
併句
紅於二月花
満壽莊主人
久安のむかし高倉院の御
手とか覺えぬ或霜白ぬかし
た禁煙掃除の役を承りし衛
士共朝露の風に身をしまひて
と堪えざりけり落葉ども横
き集めて焚きつけ暖をと
けるを衛士頭の見つけて御
座所近くに畏れ多しとて衛
士共を叱りけるをみかざき
こしめして「さな叱りぞ彼
のもしの白樂天の詩に
林間暖酒焚紅葉(らんかん

撰手間 の轉ること

から固着を起し各炭礦委員 が妥協に努めたが調停する に至らず午後四時頃に至り 勝敗未了のまま惜しき流會 となつた。

撰手間
の轉ること
から固着を起し各炭礦委員
が妥協に努めたが調停する
に至らず午後四時頃に至り
勝敗未了のまま惜しき流會
となつた。
▲決勝の分砲九投一等錦
木(磐城)二等志賀(古河)
三等白塔(磐城)▲二百米
一等西田(入山)二等龍口
(磐城)三等坂本(同)▲走
高一等佐藤(入山)二等声
川(同)三等金成(磐城)▲
千五百米一等川鍋(古河)
二等遠藤(入山)三等 泉
(叶河) ▲百米一等各口
(磐城)二等西田(入山)三
等宇野(磐城)▲八百米一
等大槻(古河)二等泉(同)
三等大谷(炭)▲八百リ
レー一等入山チーム(二
三等未了)以上

非常召集の 副産物

併句 紅於二月花

非常召集の
副産物
併句
紅於二月花
満壽莊主人
久安のむかし高倉院の御
手とか覺えぬ或霜白ぬかし
た禁煙掃除の役を承りし衛
士共朝露の風に身をしまひて
と堪えざりけり落葉ども横
き集めて焚きつけ暖をと
けるを衛士頭の見つけて御
座所近くに畏れ多しとて衛
士共を叱りけるをみかざき
こしめして「さな叱りぞ彼
のもしの白樂天の詩に
林間暖酒焚紅葉(らんかん

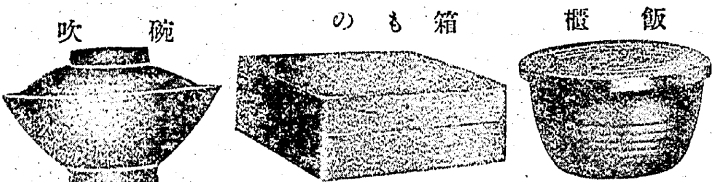
古松軒 東遊 雜記 拔萃 (一)

相馬から 石城まで

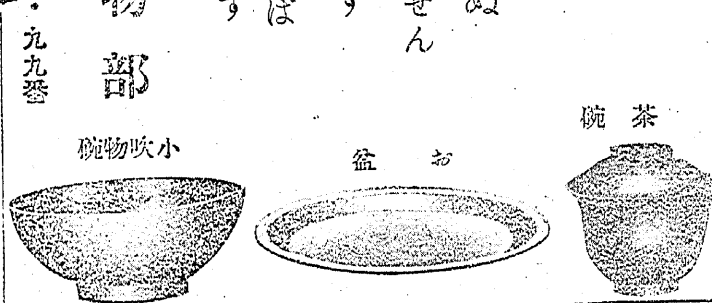
本稿は備中岡町の人古河辰の書いた東遊雜記の一節である此の紀行文は天明七年巡見使藤澤要人川口久助、三枝十兵衛等に從ひ五月六日江戸發足仙臺藩の奥地より東北各地を巡つてゐる天明七年は同三年に於ける大飢饉の後で徳川將軍は一ツ橋家から入る家齋が家治の後を繼ぐ賢相松平定信の老中上座拜命の頃で今から百三十余年前のことである當時殊に東北地方は飢饉の爲に經濟的大變動から人心萎微を極めてゐた、全体巡見使と云ふ制度は何時の頃から始まつたものか知らぬが風土民情の觀察として頗る適切な方法であつた或は細心なる樂翁の思ひ付でないかとも察せられる而して堅苦しい幕吏が文筆家の古河辰を同行してゐることも珍らしい

ら相馬の駒ヶ嶺に移り南に向ふ約四十里の旅を同月十一日まで八日間を費し磐城の上野から東白川の竹原に移つてゐる此の方面の研究者に有益な資料と思ふので抜萃したものである(は生)

五日駒ヶ嶺發足、二里余中村城下止宿、宿主太刀屋正兵衛と言町年寄也、町口より十八町程南に仙臺と相馬との境有、塚野部といふ地也、仙臺へ入つてより廿五日目に御巡見濟で、此日相馬領に入し也、其廣大なること思ふべし、仙臺城下より北方は今に夷の風俗有て萬事異なる事多く、行程も五町一里、六町一里、七町一里杯と所々に替りたるに仙臺城下より南は行程も三十六町を以て一里とし諸事の風儀上方に似て賤しき馬士などもさかしく見へし事也。



偉大なる化學の力
▼ハゲナイ漆器
容易に破損いたしません
熱湯にも酸類にも耐えられます
絶対に變形、變色せず
高尚で優美で一度買ひば
眞に萬代まで使はれます



益屋 器物部
平町電話九番・九九番

痔療散
子に惱める方へ 最近の發見薬を勧む

世は學びて、スピード化 然かも呪ひ皮膚の存在餘りに過たると、痔瘻の効能、茲に本年夏に調製進出せる痔療散 其の卓効全効的快癒に神の如く將に惱める者への福音、速に試みて速に試みられよ其の事實を

一度の實驗は百問より雄辯に證明せん
新進にして一躍痔療界の覇者
明治藥學專門學校教授
田中豊彦先生創製の「痔療散」

定價 壹週四分 貳週八分 參週八分
參日分 九拾錢 貳週分 貳圓八拾錢

私達の恩師母校の教授田中先生多年苦心せる研究藥痔療散の代理店を開始す切に御試驗を乞ふ

平町五丁目角
平町代理店 **山野邊藥局**
兼判所 山野邊 東京部
院長 醫學士 高久 忠

外科、小兒科 平町、電話五二三番
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

サロンの献立
平町電話三五三

小學生用長スボン付
特製.....95錢ヨリ
極上品.....140錢ヨリ
中學生用
特製.....170錢ヨリ
極上品.....250錢ヨリ

買良き店 5丁目
モリタヤ洋品店
電話三五三番

ふゆの通學服 斷然特賣の超尖端

安くて うまくて 品がよい
カフェエー
タヒラ食堂
(電話) 番〇二六

安價に 迅速に 町噂に 親切に
福島縣石城郡平町
遠藤活版所
電話二七七番

一家團樂は 新時代の娛樂麻雀から
マーチャン臺の 提特供價
品質.....優良
價格.....低廉
平三丁目
丸ほん家具店
電話三五九

入院應需 自炊の便あり
明雲堂眼科醫院
平町前電話六六九番

表代城磐 酒銘
味美經濟 油醬のヤマ
社會名合崎山 番十話電